

武漢事務所便り週間新聞記事報告 2010.05.22-2010.05.28

2010年5月24日付け「長江ネット」

朝鮮版の「紅樓夢」演出グループが武漢到着

～民族衣装が豪華けんらん～

6日、朝鮮半島で最も有名な芸術団である血海歌劇団は大型朝鮮歌劇「紅樓夢」の中国公演ツアーを開始した。26日夜、湖北劇場でこの中国の有名な古典小説をリメイクした歌劇を演出する予定。

昨日午前10時35分に、中国長沙から武漢への150号列車がゆっくりと武昌駅に入った。列車の扉が開き、車両から降りてきた朝鮮半島「紅樓夢」の出演者たちの鮮やかな民族衣装が周りの市民たちの目を引いた。

赤、黄、青、緑、紫……突然、記者たちが彼女たちの目前に現れ、カメラのフラッシュに驚いた。朝鮮の女の子は恥ずかしくて微笑みが浮かびながら、ぬくもりと親しみに感じる。

長沙から武漢まで随行していた湖南大劇場の関係者は記者にこう告げた。「男子のスーツと女子の伝統衣装は、朝鮮芸術家が最も正式な場で着用するようで、至るところで、このような衣装を着て中国人民への尊重と友好を伝えたい」とのこと。

取材中、一部の朝鮮役者はマスクをかぶっていたことに記者が気付き、「これは重要な役者が自分の顔を隠すためですか」とスタッフに聞いてみると「いいえ、顔を隠しているのではありません。彼らは歌手だから、喉を乾燥させたり、ほこりが入ったりしてはいけませんので、喉を守るためにかぶっている」と説明した。



朝鮮の劇団が武昌駅に到着した

2010年5月28日付け「長江新聞」

東湖・西湖初めて戦略協力達成

～二つの「美人」が手を組み、その魅力をプレゼンテーション～

「東湖は現在、西湖に及ばないが、いずれ乗り越える」とは、1954年の春、朱徳氏が東湖を視察した際、書いた文である。その後、二つの湖は繋がった。56年後のこの春、武漢市の東湖と杭州市の西湖が初めて連携した。昨日、武漢で調印した「二つの湖」の战略合作協議書には、全国で最も美しい二つの都市の湖が市場開拓し、文化イノベーションなどの分野において、全面的に協力していくことが記載された。

今回の戦略協議内容は、双方は2年に一度発展戦略フォーラムを開催する。毎年、行政レベルの相互交流訪問を行う。旅行情報の共同システムをつくり、「両湖のフォーラム」のホームページを制作し、観光地の情報を定期的に発信する。技術合作システムをつくり、観光地の資源保全、園芸緑化、水質整備、船舶などの分野において、協力を行い、旅行や休日のイベントを強化する。双方は職員を相互派遣するなど。

東湖生態旅行観光地の責任者は、「現在、西湖は既に熟練した管理経験があり、文化旅行産業の開発分野における経験が豊富で、東湖にとっては大変勉強する価値がある」と述べた。

武漢東湖はその美しい自然風景や深い楚の国の情景で国内外に知られている。「両湖」は美しい風景、深い文化基礎を通じて、お互いの協力体制を確立できるだろう。